

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1074	(H.24)No.	1074
-----------	------	-----------	------

事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	健康支援室	西寫知子	63-6970
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 19 年度 ~ 平成 年度	児童福祉法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	251505
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	母子保健事業
項	保健衛生費	(小事業名)
目	母子保健事業費	こんにちは赤ちゃん事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげる。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>乳児のいる家庭と地域社会をつなげる最初の機会とすることにより、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	消耗品費98,974 パンフレット印刷製本費89,938 訪問委託料240,000 計428,912 訪問件数614件	消耗品費88,000 パンフレット印刷製本費81,000 訪問委託料240,000 研修負担金5,000	補助金・交付金		
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			研修旅費17,000 消耗品費99,000 パンフレット印刷製本費90,000 訪問委託料240,000 研修負担金5,000	研修旅費17,000 消耗品費99,000 パンフレット印刷製本費90,000 訪問委託料240,000 研修負担金5,000	研修旅費17,000 消耗品費99,000 パンフレット印刷製本費90,000 訪問委託料240,000 研修負担金5,000
直接事業費	429千円	414千円	451千円	451千円	451千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金	120	120	120	120	120
県支出金	13				
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 296	294	331	331	331
人工数					
職員	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 7,300千円	7,300千円	7,300千円	7,300千円	7,300千円
+ 総事業費	(0千円) 7,729千円	7,714千円	7,751千円	7,751千円	7,751千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	ファミリー・サポート・センター事業の会員数	人	-	-	-	330
	実績			276	298	331	140
活動指標	目標	地域子育て支援事業における相談件数(延べ値)	件	-	-	-	9,400
	実績			1,800	3,861	5,872	7,405
活動指標	目標	子育て広場参加者数(延べ値)	人	-	-	-	197,500
	実績			38,772	74,960	114,846	158,812

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
主任児童委員をはじめ、地域の児童委員にも認知され、地域で子どもをあたたく見守り、育てるための大切な事業である。	より一層地域との連携、協働を図りたい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
子どもにやさしいまちづくりのために今後も重要な事業	「こんにちは赤ちゃん事業」の基本的な性格は、住民同士の支えあい活動であるため、現在、主任児童委員が訪問している。継続的な地域支援として地域の児童委員につなぐ展開が大切である。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	主任児童委員から、児童委員へ。また、地域づくり委員会へ協働の輪を広げて行きたい。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項